

道標



進路広報第131号
2021. 12. 24
発行 越谷南高等学校
進路指導部
題字 川嶋健二



『忍耐・継続、最後は自分を信じろ！』

3 学年主任 飯島 毅

大学入学共通テストまで、残り1か月を切りました。周りには、推薦入試で進路を決めた生徒も増えてきて、少し焦る気持ちを抱いているとともに、より一層にスイッチが入っている生徒も多くいるのではないのでしょうか。大学入試は、自分の人生において大きなターニングポイントであることに間違いはありません。今、もがいて頑張っている生徒は必ず自分の人生においての大きな糧になります。最後まで頑張りきってください。そんな君たちへ、先人の言葉を2つ贈りたいと思います。

“Anyone can do something when they WANT to do it. Really successful people do things when they DON’ T WANT to do it.

(やる気がある時なら、誰でもできる。本当の成功者は、やる気がない時でもやる。)”

by ドクター・フィル (心理学者)

長い受験勉強の中で、やる気がなくなるときはいくらでもあると思う。ほら、体育の外周走を思い出してみてください。やる気のない時だって、やらなくちゃいけないから走ってたでしょう。すべての事、時間が自分にとってやる気に満ち溢れていることなどはありえない。ただ、それに理由をつけてやらないのではなく、そんな時でもやり抜くことが、大きな成功をつかみ取ることができると思います。そして、周りには支えてくれる仲間・家族がいる、負けたくない相手もいる、今は耐えて、継続して頑張り。

“When you believe a thing, believe it all the way, implicitly and unquestionably.

(何かを信じる時は、全面的に、絶対的に、疑いの余地なく信じなさい)”

by ウォルト・ディズニー (アニメーター、実業家/1901-1966)

言わずと知れた、世界的な実業家の言葉です。最後は、自分のやってきたことを疑いなく、信じることができるかであると。簡単なようで、すごく難しいことであると思います。それは、自分を信じていることができるのは、それまでの努力の過程があるからである。やってきたことを、完璧な形で実行することは難しいかもしれない。でも合格するということを信じて最後までやりきって欲しい。

12月が終わると、大学入試共通テストを皮切りに、一般受験が一気にスタートしていく。受験生と同様に我々教員も、ともに戦っている気持ちでいる。卒業の日に、最高の笑顔で有終の美を飾れる日が来ることを心から願っている。頑張り受験生！



今、やるべきこと



2学年主任 深井 久美

受験まであと1年になりました。もう受験勉強をはじめていますか？ 楽しかった修学旅行も終わり高校生活も受験勉強に切り替える時が来ました。進路の日に小玉先生に話していただいたことを思い出してください。何をしに大学へ行くのか、上位大学へ行ったほうがいいのはどうしてか、そして「なんちゃって進学校」なんて卒業してから自分で言うことがないよう、この1年やれることを全力でしてほしい。母校に誇りが持てるようにそして、自分のために頑張してほしい。そのために第一志望校に向け計画を立て勉強し、あきらめずにやりぬく強い意志をもつこと。

そうはいっても、3年生の6月までほとんどの人が部活との両立をしなければなりません。疲れていても自分に負けないこと。隙間時間をうまく使うことなど時間を上手に使えるようになること。そして部活を最後までやり通すことでプレッシャーに慣れるなどメンタルを強くする。受験は、メンタルの強さが必要です。また、試合で活躍するには、準備や努力が必要ですね。受験で合格を勝ち取ることも同じです。この1年、しっかり準備と努力をして来年の本番を迎えてほしいと思います。がんばれ！47期。

補助輪を外そう



1学年主任 萩原 亮彦

高校に入学して約10カ月。中学校との多くの違いに気が付いているはずですが。その中の一つに、先生との距離があります。おそらく中学の時よりも、遠くに感じる人が多いのではないのでしょうか。指示が少なく、褒められる事も少ない。自分で調べなさいとか考えなさいと言われる事も多いと思います。なぜでしょう？一つは、君達が自分で出来る事の範囲を拡げたいからです。大人に近づくという事は自分でできる事を増やすという事です。全て親切に君たちが全く迷わないように指示する事もできますが、果たして君たちは成長するのでしょうか？人間は不自由な中にいると変化したり成長したりするものです。もし、今何不自由なく全てが楽でしようがないなら、この学校に通う意味はあまり無いかもしれません。自転車の補助輪を外して、もっと速くもっと自由に移動したいと願うならば、自転車に乗れるように自分が変化する以外にないのです。学校は補助輪を外すための訓練場なのです。先生たちの愛ある不親切を乗り越えて、大人に近づきましょう！



***冬休み中の進路室は閉室となります。3年生の赤本返却日は1月7日です。**